



令和4年12月12日

広島国道事務所からの  
お知らせ

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

## 建設現場の生産性向上技術を体験!!

～ デジタルデータを活用した鉄筋出来形自動検測システム体験 ～

国土交通省では、建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す取り組みであるi-Constructionを2016（H28）年度より進めており、2025（R7）年度までをファーストステージとし、ICT活用の拡大などにより建設現場の生産性2割向上を目指しています。

この度、ICTを活用した橋梁下部工事の工事体験会を開催いたします。

体験会では、デジタルデータを活用した鉄筋出来形自動検測システム導入による生産性の向上について体験して頂きます。

○開催日時：令和4年12月16日（金）14:00～15:30（小雨決行）

○開催場所：岩国・大竹道路建設事業地内 広島県大竹市小方地区（別紙②③参照）

○参加者：建設会社、建設コンサルタント 及び 地方公共団体等の技術者

○内容：デジタルデータを活用した鉄筋出来形自動検測システムを体験

（別紙①参照）

○施工企業：株式会社 砂原組

※取材を希望される場合は、事前に下記担当まで連絡をお願い致します。

（問い合わせ先）

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長 河井 知久（かわい ともひさ）

【担当】 工事品質管理官 丹後 浩一（たんご こういち）

TEL (082) 281-4137 FAX (082) 286-7900

○広島国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



広島国道事務所HP

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

# 【参考】工事見学会の紹介技術概要

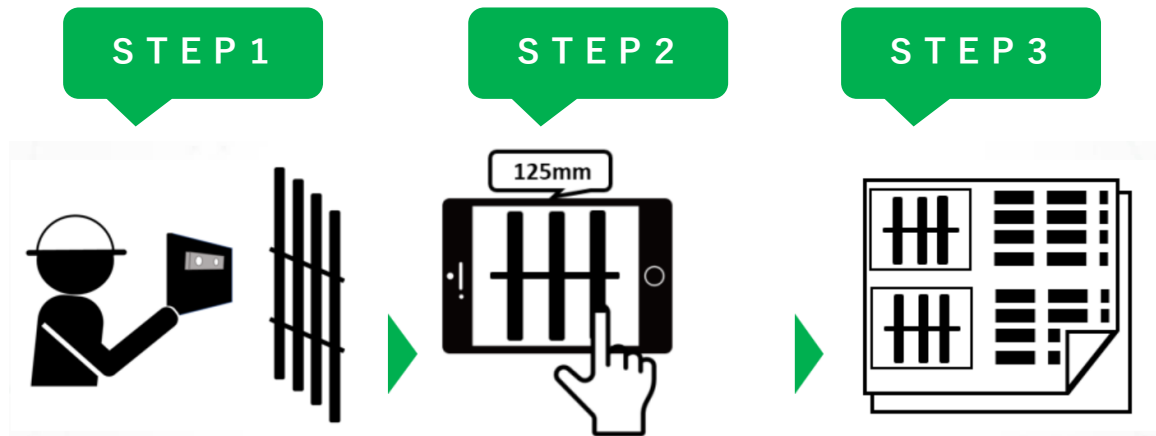
§ デジタルデータを活用した鉄筋出来形自動検測システム §

鉄筋出来形自動検測システムで作業を効率化!!

【参考】 工事見学会の紹介技術概要

§ デジタルデータを活用した鉄筋出来形自動検測システム §

鉄筋出来形自動検測システムで作業を効率化!!



①デブスカメラと接続したタブレットで、鉄筋のデブスカメラ画像およびRGB画像を撮影します。

②タブレット上で操作  
・デブスカメラ画像とRGB画像より検測範囲を指定  
・鉄筋を抽出し、鉄筋本数、配筋間隔を自動計測  
・計測結果をクラウドへアップロード

③クラウド上で帳票作成  
クラウド帳票作成します。

【STEP 1. 撮影】

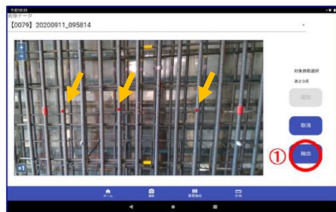


鉄筋を撮影

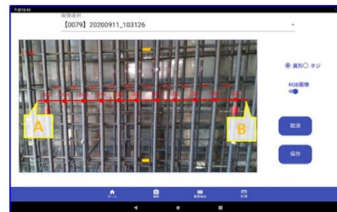


撮影ボタンを押して撮影を行う

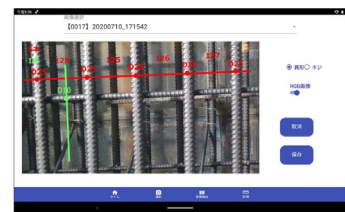
【STEP 2. 鉄筋の抽出・計測】



3点選択し、抽出を選択

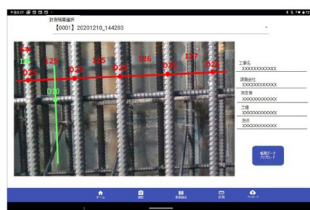


計測する鉄筋箇所を選ぶ



計測結果、表示

【STEP 3. 帳票作成】



検出結果をクラウドに送信



クラウド上で帳票生成

”配筋の写真撮影と検測位置の指定をするだけで、  
配筋間隔を自動で検測・表示できるため、作業性を向上できます。”



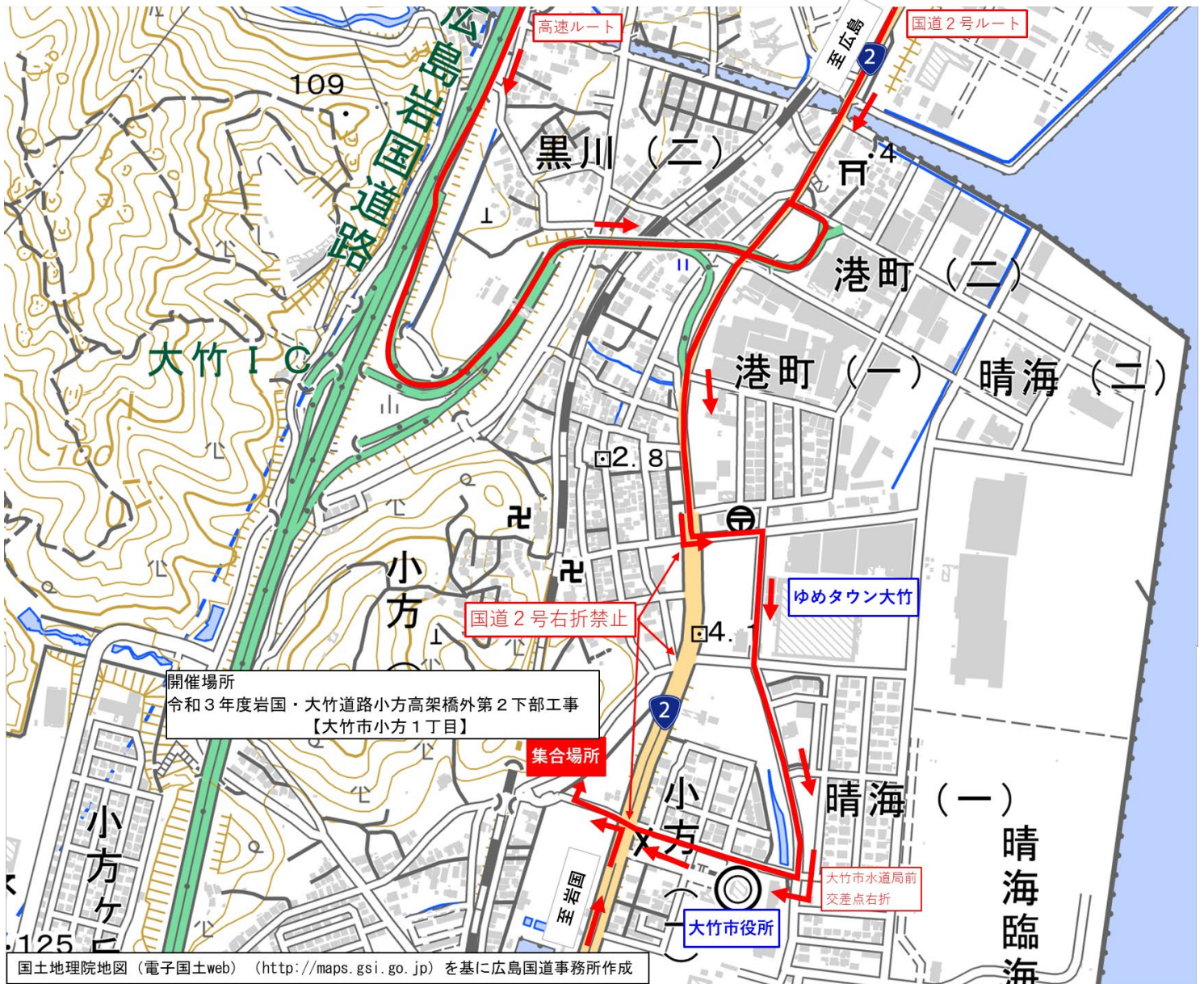


位置図

工事見学会位置

※次ページに拡大図





※現場周辺の国道2号線(下り線)は右折禁止となっていますのでご注意ください。